

# 新型コロナウイルス感染症対策について

議会代表 下牧一郎 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症対策について、その現状と対応など伺う。

**答** 本市では、2月28日に市長を本部長とする「勝山市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置した。

当市の新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応としては、市民に対し日常生活の注意点、奥越健康福祉センターへの相談目安などについて、市広報紙、市ホームページにより、周知を図っている。

また、公共施設にアルコール消毒液の設置と手洗い等の啓発チラシを掲示し、窓口職員のマスク着用、3月末までの市主催行事等の中止、延期、自粛などの判断を行った。

小学校の臨時休業による、日中留守家庭となる児童の居場所確保のため、市内の児童センターにおいて留守家庭児童の受入を実施している。

政府の臨時休業を要請する方針発表により、教育現場や子どもを持つ家

庭、医療等の現場においても様々な不安や課題が生じており、新型コロナウイルス感染症については、各地域において状況が異なることから、地域に応じた弾力的な対応が必要であると考え、児童生徒の健康・安全の確保に全力を挙げることが、国と一致協力して全力で取り組んでいく。

今回の臨時休業によって生じる保護者や関連事業者及び地方公共団体の様々な負担については、政府が責任を持って万全の対応をすることを強く求め、市民生活及び地域経済に甚大な影響が生じていることに対して、政府としてその実態を速やかに調査し、実効ある対策を講じることを併せて強く求めていく。

※市議会では、4月6日に市議会災害対策支援本部を設置し、市対策本部と連携を図り、新型コロナウイルス対策活動を支援していきます。

## 代表質問Q&A

### ○ 市政20年を振り返って

そのほかの質問  
・新年度予算案について



下牧一郎 議員  
新風会・公明代表

**問** 京福電鉄が2度の事故により平成13年10月19日で廃止になった。その後、市民の粘り強い再開運動と市長の強い信念により、第三セクター方式で「えちぜん鉄道」として営業を再開し、平成15年10月19日には福井と勝山間での運転が再開したことで廃止からわずか2年での全線営業となった。

**答** 京福電鉄が運行停止していた2年4カ月の間、バスが代替運行していたが、冬期は時間が不明確なバスを、寒い吹雪の中停留所で待っている。バスが来ても満員の場合は乗車できず次のバスを待つ。高齢者にとってはわずか1時間の距離であっても、バスと電車では全然疲れ方が違う。不便だから福井に住もうかという人もいた。そのようなことが2年4カ月の間続き、バスの運行は予想を超える問題点があるということが露呈した。勝山市民にとって、電車は絶対に必要なものであるという強い信念がそのときに、様々なことを見聞きしながら決意をした。

道路というのは行政が作る。基本的に誰もが自由に通れ、通行料を払う必要がない。それと同様に電車についても行政が必要な社会資本ということで支援する。実に必要なことであると思う。この考え方を国にもっとアピールし、支援経費については、地方交付税の算定基準の中に入れてほしいといったことも要望していきたい。